



①水をせき止めるための板を使った水防訓練②交通救助訓練③バケツリレー消火訓練④消火器消火訓練⑤傷病者のトリアージ訓練⑥倒壊建物救出訓練⑦備蓄している資機材の展示⑧物資運搬訓練



## 参加者の声

消火栓を使った放水訓練に参加しました。もしものときのために、消火器具は正しく使えるよう備えておく必要があると実感。今年は自治会で消火訓練を実施するので、参考になりました。



太田 淳さん（大島町）

パトカーや救急車が一度に走り出したところがカッコよかった！



矢野 賢さん  
佑星くん  
美月ちゃん（本町七丁目）

AEDの使用方法について実演講習を受けました。職場では大人を対象とした講習は受けたことがありますが、子ども向けは今回が初めてです。有事の際に役立てたいと思います。

## かまどを活用し 炊き出し訓練を実施

炊き出し訓練では、200食分のカレーを調理し、温かい状態で参加者に提供。災害発生時に避難生活を余儀なくされた際、避難者の命と健康を守るため、安全で衛生に配慮した炊き出しができるよう、作業体制を確認しました。



市は8月31日、上杉町の総合運動公園で総合防災訓練を行いました。訓練は、台風による豪雨と上林川断層を震源とする大地震が同時に発生する複合災害を想定。54団体約700人が参加し、それぞれの対応や連携を確認しました。

**はしご自動車が登場**

訓練は午前9時に開始し、情報伝達やシェイクアウト訓練Ⅱ下囲みⅡ、避難所設営・運営訓練などを実施。4月から舞鶴市と共同で運用している「はしご自動車」で倒壊建物からの負傷者救出や大規模火災を想定した一斉放水も行いました。

また国や府の関係機関に加え、地域住民も訓練に参加。中筋地区自治会連合会や中筋小学校の児童らが避難訓練に取り組み、災害時の対応を確認しました。

会場では、能登半島地震を受けて整備した簡易トイレをはじめ、避難所に備蓄している資機材を展示。市消防本部による救急フェアも同時開催しました。全国で災害や事故が多く発生しています。日頃から自分の命を守るため、訓練などを通じて、防災意識を高め、災害に備えましょう。

## シェイクアウト訓練

地震発生を想定し、事前に決められた日時に一斉に行う防災訓練のこと。参加者は▽姿勢を低く保つ▽頭を守る▽動かないの身を守る3つの基本動作を実践します。防災意識を高め、地震時に落ち着いて行動できることを目的としています。



まず低く  
DROP!



頭を守り  
COVER!



動かない  
HOLD ON!



（提供：日本シェイクアウト提唱会議）

## マイナ救急の流れ

### 119番通報

消防署員が通報者に傷病者のマイナ保険証の準備を依頼します。

### 同意の確認

救急隊員が、マイナ保険証を使った医療情報の閲覧について、傷病者本人に同意を求めます。

※意識不明などの場合は、同意無しで情報を閲覧することがあります。

### 本人確認

救急隊員が、傷病者の顔とマイナ保険証の写真を見て本人確認を行います。マイナンバーカードの暗証番号の入力は原則不要です。



### 情報閲覧

救急隊員がマイナ保険証を専用のカードリーダーで読み取り、傷病者の受診歴や服薬などの医療情報を閲覧します。

### 処置への活用

閲覧した情報は、傷病者の搬送先医療機関の選定や処置などに活用します。



市消防本部は10月1日から、総務消防庁が全国で進める「マイナ救急」の実証事業に取り組みます。救急隊員が傷病者の「マイナ保険証」を活用し医療情報を把握することで、適切な応急処置や搬送先医療機関の選定に役立てます。

### マイナ保険証の携行を

救急隊員は現場に到着後、救急活動に必要な情報を主に口頭で確認しています。しかし、症状に苦しむ傷病者から聞き取ることが難しかったり、かかりつけ医や服用している薬などを家族が把握していなかったりする場合も少なくあ



りません。マイナ救急では、傷病者のマイナ保険証をカードリーダーで読み込むと、救急隊員が医療情報を閲覧できます。これにより▽傷病者の説明負担の軽減▽救急隊員による適切な応急処置▽症状に応じた医療機関へのスムーズな搬送が可能に。搬送先医療機関との情報共有により、迅速な治療開始につながることも期待されます。自分の命を守るために、マイナ保険証を登録し、普段から持ち歩きましょう。登録の申し込みは、マイナポータルや市民・国保課、医療機関の窓口などでできます。

# 白寿の祝い 99歳おめでとうございます

「百」の字から「一」を取ると「白」の字になることから、99歳は「白寿」と呼ばれています。市は、年度内に白寿を迎える人に記念品を贈呈し、長寿をお祝いをしています。



ひ孫が14人もいるという佐々木さん。普段は自宅テレビを見たり、週3回デイサービスに通ったりして過ごしているそうです。おやつが好きで、特に甘くて柔らかいものがお気に入り。最近は食べ過ぎないように気を付けているとのことでした。



佐々木保子さん  
(高津町)



食事や洗濯など、自分で行えることはできる限り自分でするようにしていると米谷さん。「新聞を隅々まで読むのが日課で、さまざまなことを知るのが楽しい」と笑顔で話されました。



米谷良子さん  
(田町)



渡邊ふじ子さん  
(陸寄町)

渡邊さんは以前、トチの実を拾って、とち餅やクッキーを作るなど、水源の里・古屋の活動を積極的に行っていました。現在は、ショートのステイを利用して生活されています。



## よくある質問

**Q** マイナ保険証で分かる医療情報はどのようなものですか？

**A** 過去5年分の受診歴、薬剤情報、手術情報、診療情報です。また、過去100日分の電子処方箋情報、5回分の特健診の情報も分かります。

**Q** 救急活動に関係のない情報も見られますか？

**A** マイナ保険証から救急隊員が閲覧できる情報は、氏名や住所などの券面上に記載された情報と医療情報に限られます。

川北照子（八津合町）▽田中芳子（位田町）▽岡本まち子（延町）▽出野雄象（梅迫町）▽井田和子（高津町）▽古賀てる（十倉名畑町）▽藤本露子（故屋岡町）▽岡本ハル（白道路町）▽春田基威（味方町）▽米谷良子（田町）▽土井みさ子（十倉名畑町）▽稲葉ミヨ子（上杉町）▽佐々木保子（高津町）▽柴田實（上杉町）▽渡邊芳子（安国寺町）▽渡邊ふじ子（陸寄町）▽斉藤忠（広瀬町）▽岩崎リエ（陸寄町）▽山下和子（青野町）▽和泉治雄（西坂町）▽四方昭（神宮寺町）

**今年男性7人、女性28人**  
山崎善也市長は8月20、26日、白寿を迎える3人のお宅を訪問し記念品を渡しました。本年度の対象は大正15年4月2日から昭和2年4月1日までに生まれた人。男性7人、女性28人の計35人（9月1日現在）で、次の皆さんです（敬称略・誕生日順・掲載了解者のみ掲載）。



講演ではオリジナルソングも披露

**相手を思いやり自分も大切に**  
市教育委員会は7月25日、中丹文化会館（里町）で第1回人権を考えるセミナーを開催しました。講師の繁樹さんは、長年高校で教壇に立ち、人権教育に尽力。退職後も「人権の原点について思いを巡らしてほしい」と、優しい歌

声と語りで講演活動が続けています。繁樹さんは講演で「祝い」を意味する日本の中世の言葉「ことほぎ」（言祝ぎ・寿ぎ）を紹介。「先人たちは、相手の幸せを願う気持ちを伝えることで、自身にも幸福が訪れると思い使っていた」と話しました。社会には、部落差別（同和問題）や女性、子ども、高齢者、障害のある人、外国人、性的少数者などへの人権侵害がさまざまな形で存在しています。こうした人権問題に対する正しい知識と理解を深めるとともに、相手を思いやり、自分も大切にすることほぎの心」を持って行動することが、誰もが生きやすい社会につながるのではないのでしょうか。

## シリーズ 人権を考える 人権を考えるセミナー 「命の根っこにある人権 ～ことほぎの心～」

元愛媛県立学校人権・同和教育推進主任 繁樹義一さん

## メニューに地元食材 あやべ特産館に新店舗

青野町のあやべ特産館内に、新たなカフェが誕生します。その名も「米茶処 まなゆみ」。6月に閉店した「綾茶café」跡に店を構え、綾部産の米や米粉、茶を使ったスイーツや食事を提供します。グランドオープンは10月3日で、10月1、2日にはプレオープンを予定。ぜひ、ご来店ください。



▲米粉使用のカステラ。飲み物とのセットもあります

◀玄米のアイス、米粉のシリアル、抹茶のわらび餅などが詰まったパフェ。抹茶そのものも味わえます

### 市内産農産物の魅力をPR



米茶処 まなゆみ  
店主  
宮園ナオミさん

お米やお茶など、綾部の農産物の魅力を多くの人にPRできればと思い、出店することを決めました。メニューには、小麦アレルギーの人も食べられる米粉を使用。クレープも用意する予定です。子どもから大人まで、幅広い世代の人を楽しんでいただけます。ゆっくり休憩したいとき、仕事の打ち合わせをしたいときなど、さまざまなシーンでご利用ください。

### 店舗情報

営業 午前10時～午後4時  
定休日 火曜日（あやべ特産館の営業日に準ずる）  
住所 青野町亀無1番地2  
電話 (43)0835

## 資料館だより

### 綾部落領絵図を綾部市指定文化財に

市教育委員会は7月29日、市所有の綾部落領絵図＝写真＝を市指定文化財に指定しました。絵図は江戸時代のもと考えられ、史料の少ない綾部落初期の藩領や周辺地域の所領、村落の配置が分かる貴重な資料です。

これにより、市指定文化財は42件となりました。



法量は縦77.8センチ×横143.8センチ

### 資料館展示室の一時閉鎖のお知らせ

館内のLED化に伴う照明改修工事のため、次の期間、展示室を閉鎖します。資料の閲覧や資料館への問い合わせは対応します。

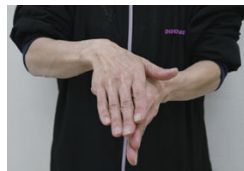
閉鎖期間 10月1日(水)～31日(金)

<問い合わせ>社会教育課文化財担当 ☎(42)4328

## 手話でつながろう

### 今月の手話

### 弁当



左手親指と4指の間に、右手でご飯を詰める動作をする。

協力：京都府聴覚障害者協会綾部支部



### 一芸に秀でる

8月1日、本市の市制施行日に75周年の記念式典を開催した。功労者や篤志者などの表彰に加え、今年には市民栄誉賞を創設し、その第1号として本市出身で昨年、人間国宝に認定された神農蔵氏を表彰した。氏は陶芸の世界において、堆磁という独自の技法で「いのち」や「祈り」をテーマにした作品を数多く世に送り、伝統を踏まえながらも斬新で繊細な芸術性が高く評価された。

一方、7月に京都市内で開催されたコンサート「ちどりやロックス」は、やはり本市出身でドラマーとして有名な屋敷豪太氏のプロデュースで、冒頭に綾部太鼓が披露された。屋敷氏やバイオリニスト葉加瀬太郎氏と本市から3人の打ち手が共演。歌手の藤井フミヤ氏や奥田民生氏らと同じ舞台に立ち、真夏の古都の一夜を盛り上げた。屋敷氏は高校卒業後に上京、その後ロンドンを中心に活躍し、今は上林に居を構えながら精力的に音楽活動を展開している。分野は異なるが一芸に秀でていること。そしてともに公言するのは「今の自分があるのは幼少から多感な青春時代を、綾部で過ごしたから」と。即ち、本市の豊かな自然や地域の人々とのふれあいが、それぞれの作風や芸風に映されているという。屋敷氏は、自らの原点は綾部太鼓にあり、それを今回のコンサートで世の人に伝えたくオープンニングでの披露に繋がったとのこと。

山崎善也（綾部市長）